

令和4年度第1回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和4年10月6日(木) 午前10時00分から

2 開催場所 小牧市役所東庁舎大会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 地域活性化推進本部 地域連携部長

川本晃平
(花村元気 代理)

名鉄バス(株) 運輸本部 首席交通企画官

大野 淳

あおい交通(株) 代表取締役

松浦秀則
(服部直樹 代理)

尾張小牧タクシー(株) 取締役

江川 修
(加藤公彦 代理)

愛知県タクシー協会 副会長

安藤 和人

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

高木 数馬

公共交通利用促進協議会 会長

安藤 和憲

小牧市区長会 連合会長

松浦 悟示

小牧市老人クラブ連合会 副会長

浦西 信治

小牧市女性の会 会計

林 順子

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯部 友彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

山内 三奈
(本田慎一郎 代理)

愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長

大林 益英
(八木郁也 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

稲垣 守之
(石原良高 代理)

小牧市公共交通功労者

小柳 松夫

犬山市 市民部 防災交通課長

兼松 光春
(加藤総一 代理)

豊山町 産業建設部 まちづくり推進課長

下村 友美

小牧市 福祉部長

伊藤 俊幸
(浅野秀和 代理)

小牧市 建設部長

前田 多賀彦

小牧市 都市政策部長

鵜飼 達市

(2) 事務局

小牧市	都市政策部	次長	堀 場 武
小牧市	都市政策部	都市整備課長	川 島 充 裕
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係長	清 水 靖 史
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係主査	高 柳 紀 公 子
小牧市	都市政策部	都市整備課交通政策係主事	宮 田 一 朗

(3) 傍聴者

0名

4 欠席者

公益社団法人愛知県バス協会	専務理事	小 林 裕 之
愛知県 尾張建設事務所	維持管理課長	吉 金 典 晃

5 議題

- (1) 会長、副会長の選出について
- (2) こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて

6 報告

- (1) こまき巡回バス「こまくる」利用状況について
- (2) こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパスの配布について
- (3) こまき巡回バス「こまくる」ウクライナ避難民に対する支援について
- (4) こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について

7 会議資料

資料1-1	こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等見直しについて
資料1-2	味岡地区A1田県線ルート変更の検討について
資料1-3	路線の新設区間
資料1-4	バス停設置箇所図
資料1-5	見直し運行時刻について
報告資料1	こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について
報告資料2	こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパスの配布について
報告資料2-1	ベビーカーの安全な使用のために
報告資料3	こまき巡回バス「こまくる」ウクライナ避難民に対する支援について
報告資料4	こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について
報告資料4-1	小牧市民まつりパンフレット
参考資料	小牧市地域公共交通会議委員名簿
参考資料	小牧市地域公共交通会議設置要綱
配布資料	こまくるガイド
配布資料	活発で良い議論ができる会議のために。
配布資料	感染対策して公共交通でおでかけだ！
配布資料	バスのシカクにご用心
配布資料	C e n t Xリーフレット

8 議事内容

【事務局】（川島課長）

大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、令和4年度第1回小牧市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

それではまず、本日の会議資料の確認をさせていただきます。

資料は、事前にお配りをさせて頂いておりますが、資料1-1として「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等見直しについて」、資料1-2として「味岡地区A1田県線ルート変更の検討について」、資料1-3として「路線の新設区間」、資料1-4として「バス停設置箇所図」、資料1-5として「見直し運行時刻について」、次に、報告資料1として「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、報告資料2として「こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパスの配布について」、報告資料2-1として「ベビーカーの安全な使用のために」、報告資料3として「こまき巡回バス「こまくる」ウクライナ避難民に対する支援について」、報告資料4として「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について」、報告資料4-1として「小牧市民まつりパンフレット」、参考資料として「小牧市地域公共交通会議委員名簿」、及び「小牧市地域公共交通会議設置要綱」でございます。また、本日の次第、配席図、現在のこまくるの路線図・時刻表のこまくるガイド、国土交通省中部運輸局愛知運輸支局様からの地域公共交通についてなどの資料、名古屋鉄道様からのCentXのリーフレットを本日机上に配布させていただいております。

これらの資料につきまして、本日お持ちでない方や、不足、乱丁等ございましたら事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。ご確認ありがとうございます。

続きまして、令和4年8月24日の任期満了に伴い、皆様に委員として就任していただきましたが、時間も限られておりますので、お手元の参考資料の、委員名簿をもちまして、ご紹介に代えさせていただきます。

また、委員の就任にあたり、小牧市地域公共交通会議委員の委嘱状を机上に配布させていただいておりますのでご査収ください。

また、本日は、名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部長の川本様に代わり、同交通サービス担当課長の花村様に、あおい交通株式会社代表取締役の松浦委員に代わり、同統括部長の服部様に、尾張小牧タクシー株式会社取締役の江川委員に代わり、同営業課長の加藤様に、中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の山内委員に代わり、同首席運輸企画専門官の本田様に、愛知県都市・交通局交通対策課担当課長の大林委員に代わり、同交通対策課主事の八木様に、愛知県小牧警察署交通課長の稲垣委員に代わり同交通課総務係警部補の石原様に、犬山市防災交通課長の兼松委員に代わり、同防災交通課主査の加藤様に、小牧市福祉部長の伊藤委員に代わり、同部障がい福祉課長の浅野様にご出席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。なお、公益社団法人愛知県バス協会専務理事の小林委員、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の吉金委員におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。

また、事務局につきましても、本日配布させていただきました資料の、配席図にてご紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは事務局を代表いたしまして、小牧市都市政策部次長の堀場より挨拶を申し上げます。

【事務局】（堀場次長）

皆様、改めまして、おはようございます。都市政策部次長の堀場でございます。

本日は、大変ご多忙の中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃より、本市の交通政策に、ご指導、ご助言を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、本日は、現在、名鉄小牧線田県神社前駅の北側に建設中であります「第3老人福祉センター」が令和5年度初旬にオープンすることに伴います、こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについてご協議いただきます。また報告といたしまして、こまき巡回バス「こまくる」の利用状況や、今年度実施しております「こまくる」に関する施策について、ご説明させていただきます。

委員の皆様におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

【事務局】（川島課長）

本日の出席委員は20名でありますので、委員総数22名の過半数に達しております。

従いまして、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立をいたしております。

また、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第5項の規定により、本会議は原則として公開することとされております。本日は、会議傍聴の申し出がございませんでしたので、ご報告申し上げます。

ここで、今年度第1回目の会議でありますので、中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官本田様より地域公共交通についてなどの資料についてご説明いただきたいと思います。本田様よろしくお願いいたします。

【本田委員代理】

愛知運輸支局本田であります。本日はよろしくお願いいたします。

愛知運輸支局の方から公共交通関係の資料を3点ほど用意させていただきました。

まず、1点目として「活発で良い議論ができる会議のために。」という資料をご覧ください。今年度最初の小牧市さんの公共交通会議ということで、新しく委員になられた方が少なからずいらっしゃると思いますので、再確認の意味を含めまして、公共交通会議の意義、目指すべきところといったところを簡単ではありますが、説明させていただきます。資料1枚めくっていただきまして、1ページ目でございます。皆様方も肌感覚で感じられているとは思いますが、鉄道、バス、タクシー、いわゆる公共交通の利用者は長らく全国的に減少傾向であります。そういった傾向を受けて、バスですと路線の縮小や運行の廃止などがあるといった状況であります。そういった中で、地域の公共交通をどのように維持存続していくか、何が必要かといった部分ですが、これといった特効薬もなくなかなか難しいところがございます。まず、地域の住民の方々をはじめとした、関係者の方々が公共交通に対して、当事者意識をしっかりとっていただいて、意見を出し合っていただくということが大事だと考えております。そういった関係者一同で話し合う場として、この地域公共交通会議が全国で設置されているところであります。公共交通会議においては、様々な立場の委員の方々が選任されております。それぞれの立場、視点で公共交通に対する意見、思いを出していただく

いったことが公共交通の糧になるのではと考えておりますので、忌憚のないご意見を出していただければと思います。また、委員の皆様のご意見はもちろんですが、ご家族や職場の皆様などから公共交通に関するより多くの意見を聞き取っていただいて本会議に臨んでいただければと思います。資料の3ページ目をご覧ください。各機関に期待される役割等、例示させていただいております。お時間が限られておりますので、またの機会にゆっくりご覧いただければと思います。4ページ目以降に様々な参考事項を記載させていただいておりますので、こちらもゆっくりとご覧いただければと思います。

次に2点目ですが、黄色の「感染対策して公共交通でおでかけだ！」というチラシをご覧ください。新型コロナウイルス感染症は若干の収束傾向にございますが、まだまだコロナ禍にあるのかなと感じております。公共交通機関の事業者様方においては、積極的に感染対策に取り組んでいただいているところでありますので、安心して公共交通を積極的にご利用いただければと思います。また、利用される皆様方におかれましても、下に記載してあります3つのエチケットをしっかりと守っていただいて、公共交通を積極的に利用していただければといったところで、関係各所にこういったチラシを配布させていただいておりますので、皆様方におかれましても、このチラシを周知していただければと思います。

最後に3点目ですが、「バスのシカクにご用心」というチラシをご覧ください。数年前に横浜のほうで、バスを降車した児童が降車後に道を渡ったところ、対向車に轢かれて亡くなるといった、非常に痛ましい事故が起きました。それを受けて、国土交通省は、全国のバス停を確認させていただいて、危険性が確認されたバス停については、順次、改善を進めているところであります。皆様方におかれましても、バスを利用された際、降車された際には、道路の横断にはご注意ください。また、ご自身が車を運転される際は、バスが停車している場合は、死角からの歩行者の飛び出しがあるかもしれないということを十分注意していただいで運転していただければと思います。これにつきましても、皆様方のほうで、チラシの周知をしていただければと思います。よろしく願いいたします。

私の方からは、以上とさせていただきます。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。

それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第1項の規定に基づき、会長が務めることになっております。

しかし、委員任命後、初めての会議であり、会長が選出されておられませんので、会長が選出されますまで仮議長を事務局で務めさせていただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

異議なしの声をいただきましたので、都市政策部次長の堀場が仮議長を務めさせていただきます。

【仮議長】（堀場次長）

仮議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、次第の2 議題に入らせていただきます。

(1)「会長、副会長の選出について」であります。

小牧市地域公共交通会議の会長、副会長については、委員の任期となりましたので、改めて選出をお願いいたします。

本会議の会長につきましては、小牧市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選によってこれを定めることとされており、また副会長につきましては、委員のうちから会長が指名するものとされております。

従いまして、まずは会長につきまして、委員の互選をいただきたいと思っております。

どなたか立候補、またはご推薦をお願いいたします。

【小柳委員】

小柳でございます。

ただいまの議題につきまして、前年度まで本市の地域公共交通会議におきまして、会長を務められており、交通に関する専門的な知識を備えられており、経験豊富な、磯部委員を推薦いたします。

皆様のご賛同を賜りますようお願い申し上げます、私からの推薦とさせていただきます。

【仮議長】(堀場次長)

ただいま、小柳委員より、磯部委員を会長に推薦したいとのご発言がありましたが、他にはございませんか。無ければ、磯部委員を会長に選任することについて、ご異議ございませんでしょうか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。ご異議なしとのことですので、本会議の会長には、磯部委員にご就任いただきたいと思っております。

【事務局】(川島課長)

それでは、磯部会長よりご挨拶をいただきます。

磯部会長、よろしくをお願いいたします。

【磯部会長】

再度、会長を務めさせていただきます、磯部であります。よろしくをお願いいたします。

冒頭で、ご挨拶ありましたとおり、交通関係は非常に難しい時代になってまいりました。日本の公共交通というのは、いわゆる民間主導で行っているという特徴があります。ですので、たくさんのお客さんがいるというのが前提として仕事が成り立っておるという状況であります。今回のコロナの関係で、あまり外出しない方がいいですよということがありますと、お客さんが減ってしまう、そうすると経営ができないという形になってしまいます。

ここで、交通とは何だろうという話がありまして、色々と考えているところではあるのですが、どの交通が大事だという議論が色々あるところではあります。私は、なぜ人は交通をするのかということに関する答えとして、人は動物だからねというひとつの答えを持っております。ですから、動いちゃいけないというのが一番つらいので、なんとかして動きたい。この動きというのは非常に

ケースバイケースであります。コロナ禍では不要不急の外出は控えましょうというんですけど、何が不要で、何が不急かというのはすごく個人差があります。なので、あの人はこんな時に外出していてよくないというのを、他人が言うのはどうかなと思っております。

まだ現在もコロナ禍という現状です。大事な交通は大事だということを認め合って、どうやって支えあっていくのかを検討し、多くのお客さんに利用していただくというのが、これからの交通だと思います。民間がやっていって、それを行政が手伝っていく、また地域の利用者がどうやってそれを使いこなしていくかという、地域全体の協力があって、公共交通は成り立っていくと考えておりますので、皆様のお知恵とお力をお借りして公共交通を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございました。

以後の議事の進行につきましては、磯部会長にお願いしたいと思っております。

磯部会長、よろしく願いいたします。

【磯部会長】

それでは、副会長の選任であります、小牧市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、副会長を会長の私より指名いたします。副会長には、昨年度まで当会議の副会長を務められておりました、小柳委員にお願いしたいと思っておりますが、委員の皆様、ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。ご異議なしとのことですので、副会長は、小柳委員にお願いいたします。よろしく願いいたします。

それでは議題(2)に入りたいと思っております。議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」であります。

この件について、事務局より説明を求めます。

【事務局】（清水係長）

それでは、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」をご説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元の資料1-1「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」をご覧ください。

本市が運行いたします、こまき巡回バス「こまくる」について、名鉄小牧線田県神社前駅ロータリー北側に「第3老人福祉センター」がオープンすることに伴い、一部の路線について、ルート・ダイヤの見直しを行うものであります。

「第3老人福祉センター」とは、市内在住の60歳以上の方に対して、健康の増進や生きがいのある生活を送っていただくための福祉施設であり、第1老人福祉センター「野口の郷」、第2老人福祉センター「小針の郷」に次ぐ、市内3つ目の福祉施設であります。

今回、見直しする対象路線につきましては、支線系路線味岡駅系統のA1田県線及びA2久保一

色線であります。

A 1 田県線につきましては、ルート及びダイヤの変更、A 2 久保一色線につきましては、ダイヤの変更を行います。

お手元の「こまくるガイド」をご覧ください。小牧市の北部の味岡駅を発着地とする、A 1 田県線、A 2 久保一色線、A 3 岩崎原線につきましては、車両 1 台で連続運行しています。このため、見直しによるルートの変更はA 1 田県線のみですが、ダイヤについてはA 1 田県線及びA 2 久保一色線が変更となります。

次に、今後のスケジュールですが、本日ご協議いただいた後、10 月下旬頃に、運行事業者でありますあおい交通株式会社が、中部運輸局へ運行内容変更の申請を行う予定であります。

利用者への周知につきましては、4 月上旬に市ホームページに掲載するとともに、こまくるの路線図・時刻表であります「こまくるガイド」などの印刷物を市内各施設などへ設置するとともに、市広報こまき 4 月 15 日号への掲載などを予定しており、利用者へ積極的に周知を図ってまいります。

なお、見直し運行の開始時期につきましては、「第 3 老人福祉センター」のオープンにあわせて、令和 5 年度初旬を予定しております。

続きまして、資料 1-2 「味岡地区 A 1 田県線ルート変更の検討について」をご覧ください。

資料左側に A 1 田県線の見直し前のルート、右側にルートの見直し案をお示ししております。

資料の右上の見直し案の概要をご覧ください。

見直し案の概要は 3 点ございます。1 点目は、「第 3 老人福祉センター」西側ロータリーにバス停を設置し、A 1 田県線で乗入れ可能にすることにより、利用者の利便性向上を図ります。2 点目は、「第 3 老人福祉センター」西側ロータリーへの進入は、定時性や交通安全に配慮し、県道名古屋犬山線から左折進入することとします。3 点目は、見直しについては、従来の利用者に配慮し、ルート、ダイヤの変更を必要最小限とします。

続きまして、見直しルート案について説明いたします。資料右側をご覧ください。変更点としましては 2 点ございます。1 点目ですが、「味岡駅」を出発し、「第 3 老人福祉センター」を経由し、「久保山団地」方面に向かう際は、県道名古屋犬山線南行きから「第 3 老人福祉センター」に左折進入し、ロータリー内のバス停で乗降します。その後、南側市道へ出て、「田県神社前駅」ロータリーに進入し、ロータリーを左折で出て、「久保山団地」方面に向かいます。2 点目ですが、「久保一色北」から「第 3 老人福祉センター」を経由し、終点の「味岡駅」に向かう際は、県道名古屋犬山線南行きから「第 3 老人福祉センター」に左折進入し、ロータリー内のバス停で乗降します。その後、南側市道へ出て、「田県神社前駅」ロータリーに進入し、ロータリーを右折で出て、「久保一色交差点」を左折し「味岡駅」に向かいます。このルート変更により、A 1 田県線は 1 便で「第 3 老人福祉センター」バス停に 2 回、「田県神社前駅」バス停に 3 回寄ることになります。

また、このルート変更については、道路管理者である尾張建設事務所維持管理課及び小牧市道路課、公安委員会である小牧警察署交通課、地元の関係区長様に事前に内容を説明し、了承をいただいております。

続きまして、資料 1-3 をご覧ください。こちらは、路線の新設区間をお示しした資料であります。

A 1 田県線の見直しに係る変更であり、青色で示してあるのが新設区間であります。新設区間の車道の有効幅員は、いずれも 6 m 以上ございます。いずれも公安委員会、道路管理者とは協議済み

であります。

続いて、資料1-4をご覧ください。こちらは、今回の見直しで新設する「第3老人福祉センター」バス停の設置箇所図の案であります。紫色の線がA1田県線の見直しルート、黄色が車道、うすいピンク色が歩道、赤い矢印が施設の出入口になります。現在、工事中であります、施設西側のロータリー内に新たなバス停を設置する予定であります。

また、バス停の名称につきましては、「第3老人福祉センター」の愛称をバス停名にする予定であります。

最後に資料1-5をご覧ください。今回の見直しに伴う運行時刻の変更であります。黄色で着色した部分がダイヤの変更を予定している箇所であります。

以上で、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」の説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【磯部会長】

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありました、この件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

【本田委員代理】

愛知運輸支局本田でございます。2点ほど確認させてください。

運行開始が5年度初旬、第3老人福祉センターのオープンに併せてということだと思っております、現時点ではまだオープン日は確定していない状況なのでしょうか。

2点目ですが、説明の最後で停留所名については第3老人福祉センターの名称にしますという説明だったと思っております、この名称が決まるタイミングというのはいつになるのでしょうか。

といいますのは、私共の方に提出いただく申請書に停留所名を記載していただく必要があります。そこのタイミングの関係がありますので、確認させていただければと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。

いずれも日付の関係ということではありますが、日付の確定ということは重要なことだと思いますので、事務局の方、ご回答お願いいたします。

【事務局】(川島課長)

2点ご質問いただきました。1点目がオープン日の件について、2点目が愛称の確定日ということであります。

1点目のオープン時期であります、現在の施設工事と併せまして、周辺の駐車場整備工事、またアクセス道路の整備工事を行っているところであります。「第3老人福祉センター」につきましては、先ほど説明させていただきましたが、健康の増進や生きがいのある生活を送っていただくための福祉施設であります。この施設の工事完了につきましては、今年度12月を予定しておりますが、駐車場の工事や周辺の道路工事につきましては、年度末頃の完了を目指して工事を行っております。

ます。工事の進捗により、オープン日を決定していきたいと考えております。

2点目の愛称であります。施設を所管しております部署に確認したところ、年末から年明けにかけて愛称が決定するというので、今、決定方法について検討している最中であると報告を受けております。

以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございます。

運輸局の方は、申請の関係で、どのようにしたらよいのかという助言があればお願いしたいと思っております。

【本田委員代理】

先ほど説明させていただきましたとおり、申請書のほうにバス停の名称を記載していただく必要がございます。路線の許可申請のタイミングとしましては、3ヶ月前と設定させていただいております。

先ほどの説明では10月下旬には運輸局のほうに申請となっておりますが、ここまで早く申請していただく必要はないのかなと思っております。名称が決まるのが、年末から年明けということですので、運行開始まで3ヶ月以上ございますので、名称が決まってから申請いただいても十分間に合うと思っておりますので、そういった形でご検討いただければと思います。

【磯部会長】

では、事務局のほうはそういったスケジュールで検討してください。

また、地域公共交通会議の場で、名称に関する承認を受けたりする必要があるのか、必要に応じて会議を開催するしないし、書面決議を図るなど検討してください。

よろしく願いいたします。

他、質問はありますでしょうか。

【安藤委員（公共交通利用促進協議会）】

素朴な質問なんですが、このバス停の設置につきましては、「第3老人福祉センター」という施設を活用される方が利用されるという見込みをもっているのか、それと併せてこのバス停の設備といえますか、どのようなバス停を設置する想定でおられるのでしょうか。具体的には、雨の日もあれば風の日もあるわけですが、ずっと立って待っていなくてはならないのか、というような、バス停の待合環境について、事務局はどのような整備を想定されているのでしょうか。

【磯部会長】

ありがとうございます。

バス停の利用者の想定とバス停環境という質問ということですが、事務局の方、ご回答お願いします。

【事務局】（清水係長）

2点ご質問いただきました。1点目が「第3老人福祉センター」の利用者の想定、2点目がバス停の待合環境についてということであります。

まず、1点目の利用者の想定であります。基本的には施設の目の前にバス停を置くということになりますので、施設の利用者が使われることを想定して設置するバス停であります。

2点目のバス停の待合環境についてであります。バス停は、現在のバス停と同様のバス停を設置する予定であります。施設側とよく協議をして、ベンチの設置等、検討していきたいと考えております。

以上であります。

【磯部会長】

今回のバス停設置箇所は道路上ではなく、敷地内ということですので、敷地内で邪魔にならないければ色々な工夫ができるかなと思いますので、よく検討いただければと思います。

よろしく願いいたします。

他、質問はありますでしょうか。

では、私の方から指名してしまうんですけども、犬山市さん本日来られてますので、田県神社前のところは、犬山市さんもバスが乗入れています。今回、施設に新たなバス停ができたとしたら、そのバス停を使う予定等はあるのでしょうか。今のところの考えを教えてください。

【加藤委員代理（犬山市防災交通課）】

犬山市防災交通課の加藤と申します。

当市のコミュニティバス「わん丸君バス」を走らせているのですが、「楽田西部線」の1つのバス停として「田県神社前駅」にバス停を置かせてもらっていただいております。今、バス停を置かせてもらっていますのが、「こまくる」の「田県神社前駅」のバス停のすぐ隣に置かせていただいております。実は、来年、令和5年12月に再編の予定をしております。再編後につきましても、この「田県神社前駅」にはバス停を置かせてもらいたいと考えております。この小牧市さんの整備に伴って、犬山市のバス停もなにかしら影響があるのかというのは確認したいのですが、このままでいいのか、移設が必要となってくるのか、どうでしょうか。

【磯部会長】

まずは、駅前のバス停のことですね。

事務局どうでしょうか。

【事務局】（清水係長）

今の質問ですが、「第3老人福祉センター」の整備工事に伴い、今の「田県神社前駅」の「わん丸君バス」のバス停がどうなるのかということですが、今のところ、移設ですとか、犬山市さんに影響がでるようなことは想定しておりません。

よろしいでしょうか。

【磯部会長】

今回、施設の前にバス停ができますけど、これに立ち寄るかどうかというのはこれから検討していくことだと思いますけど、今のところどういったお考えでしょうか。

【加藤委員代理（犬山市防災交通課）】

今のところの検討としては、「第3老人福祉センター」の前は想定しておりません。ただ、もし、犬山市の方が使えるような施設であれば、止まった方が犬山市民の施設の利便性が良くなりますので、そのあたりも今後検討していきたいと考えております。

【磯部会長】

今日の小牧市の提案を受けて、犬山市さんとしても検討していくということですね。そのときは、行政間で色々と調整していただけるといいかなと思います。

ありがとうございます。

他、質問はありますか。

他に発言もないようですので、決議に移りたいと思います。

決議の内容としましては、バスが通る道、道といっても今から市道を作ったり、駐車場の中を通ったりするみたいですが、そういったことと、バス停を新規に設置すること。そのバス停の設置環境については、色々なことを考えて慎重に置いていただきたいということ。それに併せまして、ダイヤの見直しですね。ダイヤの見直しも利用者にとっての利便性もありますけど、運転手さん、交通関係のことも色々考えているのかという、3点に関する議論がありましたが、このことに関する承認をいただきたいところであります。

それでは、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」は、原案のとおりで進めることとして、ご異議ありませんか。

《異議なしの声》

ありがとうございます。

議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」の一部路線等の見直しについて」は、原案のとおりで進めることとして承認されました。

本日の協議事項は以上であります。皆様、慎重にご審議いただきありがとうございました。

続きまして、次第の3 報告に入ります。

報告ということで、本日議決を得るものではございませんが、それぞれの説明の後、ご質問、ご意見がありましたらお伺いしたいと思います。

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」、事務局より説明を求めます。

【事務局】（清水係長）

それでは、報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」利用状況について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料1をご覧ください。

1枚目が令和元年度の4月から令和4年度の8月までの月ごとの利用状況を棒グラフで表して

おります。

1枚めくっていただきまして、2枚目の資料は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度の乗車人数と新型コロナウイルス感染症が流行しました令和2年度以降の乗車人数について、月ごとの比較を折れ線グラフで表しています。令和元年度と令和2年度の比較を(A)、令和元年度と令和3年度の比較を(B)、令和元年度と令和4年度の比較を(C)の折れ線グラフで表しております。なお、※印で記載しておりますとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の乗車人数と比較するため、令和元年度3月の乗車人数のみ前年の平成30年3月の乗車人数のデータを使用しております。

新型コロナウイルス感染症が蔓延した令和2年の4月5月は(A)のグラフのとおり、令和元年度と比較して乗車人数が50%ほどとなっておりますが、令和4年度は(C)のグラフのとおり、90%強、6月に関しては100%以上まで乗車人数が回復しているところであります。

現在、新型コロナウイルス感染症第7波が落ち着いてきたところではありますが、これまで同様、運行事業者であるあおい交通が、車内の消毒や換気などを徹底するとともに、利用者への手指消毒やマスク着用などの協力をお願いし、可能な限り感染対策を実施し運行してまいりたいと考えております。

以上で報告(1)「こまき巡回バス「こまくる」の利用状況について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ただいま事務局からこまき巡回バス「こまくる」の利用状況についてご説明がありましたが、せっかくの機会ですので、「こまくる」だけではなく、小牧市内の他の公共交通の利用状況についてもご報告をいただければと思います。

まずは、名鉄小牧線の利用状況について、名古屋鉄道花村課長よりご報告をお願いいたします。

【花村委員代理】

名古屋鉄道の花村と申します。着座にて失礼いたします。

ただいま会長よりお話ありました、名古屋鉄道の利用状況でございますけれども、新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、傾向としては、今小牧市様ご紹介した「こまくる」の利用状況と似た通り、減少傾向となっております。ただ、「こまくる」より若干悪いというのが鉄道事業として、理由としましては、テレワークの定着、出張等の減少、あとは旅行等の外出の減少というところであります。今現在、名鉄小牧線も傾向としては似たようなところありますけれども、通勤定期の利用が、コロナ前と比較しまして85%ほど。通学に関しては、90%ほどまで戻ってきているというところがございます。ただ、定期外の利用が70%から75%を推移しているという状況でございます。幸い、小牧線に関しましては、小牧市に住む方が増えていることもありまして、増加傾向であったところありますので、他の路線より若干、今の数値より上のところを推移している形になりますけれども、この先、コロナの感染者が減ったとしても、やはり生活様式というのは変わりづらいと考えておりますので、今の状況が継続していくのかなと推測しているところであります。

簡単ではございますが、鉄道の状況のご説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

それでは続きまして、名鉄バスの利用状況について、名鉄バス大野首席交通企画官よりご報告をお願いいたします。

【大野委員】

名鉄バスの大野でございます。よろしくをお願いいたします。

弊社も名古屋鉄道と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているというところであります。ただ、第7波が収束しつつあるということで、第6波から第7波、それから現状についてというのは、乗車人数については、だいたい8割を超えた程度まで戻ってきております。路線によっては9割近くいっているところもありますが、かなり数字が悪いところもあります。

小牧市内を運行している路線につきましては、小牧駅からJR春日井駅までいっている春日井市内線については、85%86%くらいの数字で推移しているのですが、小牧駅から岩倉の系統の方ですね。特に、市民病院、市役所を結んでいる路線につきましては、「こまくる」が非常に充実しておりますので、数字としましては、他の路線と比べて、悪いという傾向にあります。コロナ禍前に比べますとだいたい70%くらい。他の路線と比べますと、だいたい10ポイントくらい低くなっておりますので、そのあたりの影響というのは出ていると思います。また、間内駅から岩倉を結ぶ路線につきましても、もともとのご利用のお客様の分母の部分が少ないので一概に比較はできないのですが、そちらにつきましても同様な数字で、あまり芳しくないという傾向が出ております。

それから、名古屋駅、名鉄バスセンターの方からから桃花台、小牧駅の方から桃花台を結んでおります、近距離高速バスにつきましても、鉄道と同様な傾向で、やはり、外出する機会が減った、通勤するお客様が減ったということで、こちらの方も数字としてはかなり悪いという感じであります。ただ、コロナ禍前に比べまして、お客様の減少に伴って、ダイヤの方も削減しているところがありますので、一概に同様な傾向ではないということだけは付け加えさせていただきます。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

それでは続きまして、ピーチバス、桃花台バスの利用状況について、あおい交通服部統括部長よりご報告をお願いいたします。

【服部委員代理】

あおい交通の服部です。着座にて説明させていただきます。

弊社が運行しております、ピーチバス、桃花台バスの運行状況につきましては、やはり新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前に比べて、双方利用者が減少しているということでございます。それに加えて、先月9月26日よりピーチバスの一部区間の減便をさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減っていることに加えて、慢性的な乗務員不足ということもありまして、安全運行の観点から、遅延の解消、乗務員の休息時間の確保等、総合的に判断したところであります。利用者の方々にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解をいただければと考えております。

以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございました。

それでは続きまして、県内のタクシーの利用状況について、愛知県タクシー協会安藤副会長よりご報告をお願いいたします。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

愛知県タクシー協会の安藤でございます。

私は、全体的な話を申し上げさせていただきたいと思います。タクシーが日本に誕生いたしまして、今年で110年ということですが、10年前と比べますと乗務員が日本全体で13万人減っております。愛知県では800から1000人減と、率にしますと35%減と、愛知県も全国と同じように減っております。

そうした中で、実は団塊の世代にタクシーは支えていただいております。ところが2025年には、団塊の世代は後期高齢者となってしまい、さらにコロナの影響で利用者の減少が促進されておりますので、回復が難しいだろうと思っております。乗務員の平均年齢は61歳、平均年収は約300万円、全産業の平均年収が約540万円ですので、なぜ6割で生活していけるかと申しますと、年金併用でございます。その年金併用されている方々がすべて、運転をしたくなくなってくる時期が近付いているということで、そういうことを放置しておいてはいけないということで、現在私は尾張地区を担当しておりますので、江南市の「いこまいCAR」、岩倉市の「ふれあいタクシー」、稲沢市の「おでかけタクシー」の3市が、お客様が乗られる際に、市内だけを対象として、半額以上負担し、できるだけ乗務員の労働条件を確保して、少しでもタクシーを残していくという方向になっております。10万人の愛知県下の市で約半数の車両を占めるタクシー事業者が撤退し、なかなか運転手が戻っておりません。このようなタクシー事業者の7割の方々に地域タクシーを守っていただいております。名鉄とか大手の事業者はこれに入っておりませんが、この7割の方々が経営を諦められると、その地域のタクシーが消滅してしまうという現状でございます。そういった意味で、自治体がタクシーを守るために動いてほしいということで、10月から日進市、それから東郷町が先行して春から動いており、津島市が年明けからスタートするというので、来年、第3次公共交通計画もございまして、それに向けて実証実験をしますということでもあります。

小牧市様においても福祉関連の方も是非入っていただいて、タクシーをどう守っていくか、地域の老人の方々をどうやって運んでいくかということを考えていただくことが大切かと思っております。

タクシーだけではなく、バス、タクシーなどすべてのモードを使って、いかに地域交通を守るかというのが、来年の公共交通計画の一番のキーポイントになっていくのかなと思っております。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

ただいま、こまくるをはじめ、それぞれの交通機関から利用状況の報告がありました。この件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

【大野委員】

名鉄バス大野でございます。

先ほど、あおい交通様の方から、ご報告ということでピーチバスの話がございましたので、それに追記させていただきたいと思っております。

あおい交通様のピーチバスが小牧駅からの最終バス、それからその一本前のバスが、色々諸般の事情によってダイヤの削減をされるということでありました。それにつきまして、小牧市様の方から名古屋鉄道のグループとしてなにか知恵はないかということがございまして、バス、タクシーも含めまして色々検討した結果、名鉄バスの方で、そのあおい交通様が運行していたピーチバスの最終便とその一本前の便ですが、似たような時間で、経路は違うのですが、弊社が名鉄バスセンターから小牧駅を経由して桃花台までいっている路線のうち、小牧駅から桃花台の間の区間を代行といえますか、同じような時刻で運転させていただくという流れで、今進めさせていただいております。小牧市様からの要望と申しますか、それに応える形で、桃花台の方々、地域の足を守るという意味で、弊社としましては、小牧市様、それから市民の皆様にご協力させていただきたいと思っておりますので、併せてご報告させていただきます。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

地域住民の足を守るために、そういった工夫をされているといったご報告でした。

他にご意見ありますでしょうか。

先ほどタクシーの方から小牧市の地域公共交通計画の話がありましたが、そこについては後程事務局の方から説明があると思っておりますので、その時に回したいと思っております。

それでは次の報告に移りたいと思っております。

次に報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパスの配布について」、報告(3)「こまき巡回バス「こまくる」ウクライナ避難民に対する支援について」、報告(4)「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について」一括して事務局より説明を求めます。

【事務局】(清水係長)

それでは、報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパスの配布について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料2をご覧ください。

こまき巡回バス「こまくる」は、65歳以上の高齢者や幼児、障がい者などの交通弱者の利用料を無料としております。今回の報告は同様に交通弱者である妊産婦の「こまくる」の利用料を無料とするものです。

妊産婦の「こまくる」の利用料を無料とすることで、妊産婦健診や乳児健診のほか、子育て世代包括支援センターや児童館等の子育て支援の場への参加や買い物など、様々な外出時の移動手段として活用していただくことで、移動手段を持たない妊産婦だけではなく、全ての妊産婦に「こまくる」を利用していただき、子育て世代の利用促進につなげるものであります。

マタニティフリーパスの配布は、今年度の6月1日から開始しており、年間2000人程度の妊産婦を対象としており、事業開始から3ヶ月で約400枚配布しております。

利用期限は妊娠届出時から出産予定日の1年後までの約22か月間です。

「マタニティフリーパス」は原則妊娠届出時及び転入時にラピオ3階の子育て世代包括支援センターで配布しており、その際に、車内事故防止のため、報告資料2-1のチラシを配布しております。また、チラシと同内容の広告動画をこまくる車内のデジタルサイネージでも放送しております。

利用状況としては、6月が62人、7月が106人、8月が95人の方にご利用いただいております。

なお、「マタニティフリーパス」利用による利用料は子育て世代包括支援センターが負担しております。

以上で報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパスの配布について」の説明とさせていただきます。

続きまして、報告(3)「こまき巡回バス「こまくる」ウクライナ避難民に対する支援について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料3をご覧ください。

令和4年4月21日(木)に、ロシアの軍事侵攻によりウクライナから小牧市に非難された女性に対し、小牧市の避難者支援の取り組みの1つとして、「こまくる」の無料乗車券を発行し、避難者の外出支援を行いました。

避難者の方は、小牧勤労センターに滞在されたことから、周囲に買い物施設等が少ないため、4月29日から5月20日までの期間に「こまくる」を複数回ご利用いただいたと聞いております。

以上で報告(3)「こまき巡回バス「こまくる」ウクライナ避難民に対する支援について」の説明とさせていただきます。

最後に、報告(4)「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について」、ご説明申し上げます。お手元の報告資料4をご覧ください。

第43回小牧市民まつりが令和4年10月15日(土)、16日(日)に開催される予定であり、開催2日間の終日、こまき巡回バス「こまくる」の利用料を無料とすることで、イベント開催時に懸念される会場周辺の駐車場や駐輪場の混雑緩和につながるものです。今までも同様の施策をとっておりましたが、令和2年度3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で市民まつりが中止となっており、3年ぶりの開催となりますので、こまき巡回バス「こまくる」の終日無料化について、改めて報告させていただくものです。

実施内容といたしましては、小牧市民まつり開催の2日間、「こまくる」の全路線、全便の利用料を無料とするものです。また、報告資料4-1の小牧市民まつりのチラシに「公共交通機関を利用しましょう」という文言を掲載する他、「こまくる」だけではなく、名鉄バス、あおい交通の民間路線バスのホームページQRコードを添付し、公共交通機関全般の利用促進を図ります。また、2日間の「こまくる」の利用料については、市が負担いたします。

以上で報告(4)「こまき巡回バス「こまくる」市民まつり開催日の無料乗車について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。

報告(2)(3)(4)の件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

【本田委員代理】

愛知運輸支局本田でございます。

フリーパス関係を3つご報告いただいたんですけれども、ウクライナ避難民の方については、1名ということで、非常に限定的なものなので対応が違うと思いますが、マタニティですとか市民まつりの無料乗車につきましては、無料とするのが「こまくる」だけといった形になっております。妊婦の方ですとか、お祭りに来る方は、「こまくる」だけではなく、名鉄バスやあおい交通さんのピーチバス、桃花台バスを使って病院であったり、お祭りに来られる方もいらっしゃると思います。そういった方々にも同じような措置ができればいいのかなと思います。広く公共交通を使いやすい形にさせていただいて、色々な対象者の幅を広げてさせていただいて、公共交通全体の活性化、利用しやすい環境づくりに努めていただければと思っております。

また、今後においては、そういった視点、「こまくる」以外の公共交通についても利用しやすい環境づくりをご検討いただければと思います。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

事務局の方から何かございますでしょうか。

【事務局】（川島課長）

今、ご意見いただきました、マタニティフリーパス、市民まつりの「こまくる」無料乗車について、報告のとおり実施させていただきます。

市民まつりにつきましては、新たに、まつりのチラシやホームページなどに「こまくる」のみではなく、公共交通全般をご利用いただくように、案内を掲載させていただいたところであります。

今後、名鉄バスさん、あおい交通さんにつきましては、費用負担など協議することがあると思いますので、そのあたり協議いたしまして、検討していきたいと考えております。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

今年は間に合わないと思いますが、そういった検討の場をしっかりと設けてさせていただいて、話し合っていたいただければと思います。

他にご意見ありますでしょうか。

【大野委員】

名鉄バスの大野でございます。

ただいま、小牧の市民まつりのチラシに公共交通を利用しようということで、弊社、そしてあおい交通様のホームページへのご案内というのを入れていただきました。これは本当に一歩進んだのかなと思っております。

先ほど、運輸支局様、磯部会長様からもお話がございましたが、現実ですね、こういった一時的にバスの無料ということは、本日出席されております豊山町様の方で実現いたしております。敬老の日にあわせて、当初は豊山町様のコミュニティバスだけが無料という形だったのですが、何年間か協議を重ねさせていただきまして、名鉄バスもその期間に限っては、無料ということで、豊山町

様からご負担いただけるという施策が実現しておりますので、是非とも小牧市様におかれましても、弊社だけではなく、タクシー事業もそうですし、鉄道事業もそうですが、全体が公共交通だという認識をお持ちいただいて、なんとか市民の皆様方に喜ばれるようなことを進めさせていただければと思っております。現実そういうことが、お隣の行政様の方で進めさせていただいているということ、ご披露させていただきます。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

事務局の方、なにかありますでしょうか。

【事務局】（川島課長）

豊山町さんの方では、そのように費用負担をされて実施されたということでもありますので、豊山町さんの事例をよく確認させていただきながら、小牧市においても前向きに検討していきたいと考えております。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ちょっと補足といいますか、交通の世界になにが起きているかという話をしますと、アルファベットでMaaS、マースと呼ぶんですけども、それが何かといいますと、ひとつの交通機関だけではなく、いろんなものを併せて乗れるようにしましょうねというような動きです。例えば、一枚の切符でいろんな乗り物に乗ろうねとなったとき、利用者からみて、公共交通を使うときに何が面倒くさいかという、どうやって料金払ったらいいかわからないとか、どうやって切符を買ったらいいかわからないというのがあります。そうなったときに切符一枚あれば何でも乗れますよというのを渡しておく、使ってくれるといったことがあります。まあ費用負担とかは大変なので、色々考えていただかないといけないのですが、そういった切符を作る時に、公共交通だけで話し合うのではなくて、お店側も仲間にして、割引券をつくるなど、地域でやっていくのがいいんじゃないかなと思います。そういったことが定着するのは難しい、すぐにはできないですというのであれば、お祭りのようなイベントで期間限定でお試しでやってみるとか、それも一つの作戦だと思います。

こういった事例は全国にたくさんありますので、行政と民間が協力してやっていただければなと思います。

他にご意見ありますでしょうか。

【花村委員代理】

名古屋鉄道花村でございます。

私からも、今磯部会長からお話ありました、MaaSのお話にからんで、皆様にお配りさせていただいております、リーフレットについて、ご紹介させていただきます。

こちらは「CentX」というアプリのリーフレットでして、今年の3月に当社がリリースしました、スマートフォンのアプリでございます。リーフレットの方にもMaaSという言葉が入っておりますけれども、どういったものなのかといいますと、先ほどの利用報告のところでもお話させていただ

きましたが、公共交通機関というのは調べるとかなり色々あります。ご自宅からどこかへ行きたいときに、まず一番に車という選択肢が浮かんでしまいますけれども、公共交通機関というのは、鉄道、バス、タクシーを乗り継いでいただければ、基本的にどこにでもいけるものになっております。そちらを利用するにあたって一番高いハードルになっているのが、公共交通機関を知らないですとか、乗り継げないというところが一番の課題かなと考えております。それを解決する策という意味でのアプリとしまして、こちらの「CentX」であれば、どこかまで出かけたなと思ったときに、愛知県、岐阜県、三重県のコミュニティバスまで含めて、全て検索することができます。なので、鉄道でいき、バスでいき、最後に「こまくる」に乗り継げば、目的地までいけるんだなということが、すぐに検索することができます。そういったことを調べる手間もなく、色々な公共交通モードを超えていくことができますので、是非ご活用いただければと思います。

先ほどご紹介がありました、チケットの機能もございます。なかなか、まだ、色々な公共交通モードを乗り継ぐといったチケットを作るといったところまで実現できてはおりませんが、そういったことも今後実装できると考えておりますし、交通手段を調べるだけではなくて、例えば、今日一日時間が空いたなというときに、近くでやっている美術館のイベントはなんだろうといったことを調べることもできますし、じゃあ今いる場所からそこまでどうやっていけばいいのかということも検索することができます。

今回は当社の「CentX」のご紹介をさせていただきましたが、スマートフォンのアプリですとか、デジタル技術を活用しながら、公共交通機関の利用のハードルを下げたいと思っておりますので、是非皆様の方でも、ご紹介いただければと思います。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

資料の説明をしていただきました。

他にご意見ありますでしょうか。

【安藤委員（愛知県タクシー協会）】

愛知県タクシー協会の安藤でございます。

今回は、名鉄タクシーの立場でお話させていただきます。

この「CentX」というアプリで注意していただきたいのは、タクシーも呼べるということで、名鉄タクシーだけか、名鉄だけの囲い込みかという誤解を招いてはいけませんので、これは、地域のタクシー会社も入れていくというのは名鉄サイドもよくわかっておりますので、全体で地域交通を守るというのを、地域アプリという位置付けで紹介させていただいておりますので、是非、ご協力いただきたく思います。

以上でございます。

【磯部会長】

ありがとうございます。

事務局の方も協力ないし、検討のほどしていただければと思います。

他にご意見ありますでしょうか。

他にご発言もないようですので、次に移りたいと思います。

次第の4 その他であります。事務局から何かありましたらお願いします。

【川島課長】（事務局）

それでは、事務局より2点、ご報告させていただきます。

まず、1点目ですが、「小牧市地域交通網形成計画の見直しについて」であります。

「小牧市地域交通網形成計画」は平成30年3月に小牧市が策定し、令和4年度末までを本計画の対象期間としております。本来であれば、令和2年11月に改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、令和3年度から令和4年度にかけて計画の見直しを実施し、令和5年度から新たに「小牧市地域公共交通計画」を策定し、運用するところではありますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通機関の利用者が大幅に減少し、通常の利用状況を把握できないことなどから、見直しを延期していたところであります。

今後の予定としましては、令和5年度から6年度にかけて見直しの検討を実施し、令和6年度末に策定できるよう進めてまいりたいと考えています。

つきましては、委員の皆様には、今後、ご指導、ご協力をお願いすると思っておりますが、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、2点目ですが、「小牧市地域公共交通会議の日程について」でございます。

今後の会議の開催予定につきましては、協議、報告事項等の案件が整いましたら開催させていただきたいと考えています。その際は改めて文書にてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたように、現行の「小牧市地域交通網形成計画」の終わりの年次が来るんですけども、それを伸ばしていく方向になるというお話でした。

また、今回の会議につきまして、開催の連絡があった際には、皆様のご参加をお願いしたいと思います。

その他、何か発言がありましたらお願いします。

それでは、進行を事務局へお返しします。

【事務局】（川島課長）

それでは、これもちまして令和4年度第1回小牧市地域公共交通会議を閉会します。

皆様、ありがとうございました。